

令和4年度 呉市立蒲刈中学校 教育構想

呉市立蒲刈中学校長 柿林 浩彦

- 【ミッション】 小規模校の良さを生かしグローバル社会で活躍できる生徒の育成
 【ビジョン】 地域創生の核となる学校
 【学校教育目標】 『未来を拓く生徒の育成』

<<めざす生徒像>> ①変化に柔軟に対応し挑戦する生徒 ②「深く」「先を見て」考え行動する生徒 ③仲間と協働し切磋琢磨する生徒 ④地域を愛し協働して貢献する生徒 ⑤夢を抱き自ら夢への道を拓く生徒 ⑥自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる生徒	<<めざす教職員像>> ①変化に柔軟に対応し挑戦する教職員 ②情熱をもち自己研鑽する教職員 ③愛情をもち子どもに向き合う教職員 ④生徒の意欲と自律心を育てる教職員 ⑤保護者や地域から愛される教職員 ⑥生徒や保護者、地域から頼りにされる教職員	<<めざす学校像>> ①変化に柔軟に対応する学校 ②地域と連携し地域創生の核となる学校 ③自律・協働のもと組織的に動く学校 ④地域から愛され地域に貢献する学校 ⑤笑顔あふれる楽しく温かい学校 ⑥教育活動の様子や成果を積極的に発信する学校
--	--	--

【経営理念】 「少人数だからできる教育・蒲刈だからできる教育の創造」

【経営目標】 社会に開かれた教育課程の創造
～学びのエリア展開と地域資源の活用を通して～

【研究主題】 学びを活かし課題解決を図る児童生徒の育成
～授業改善と地域の学びを通して～

- 【学校体制】
- 1 小中一貫教育を推進し発達段階に即した効果的な指導をする。
 - 2 「教えて考えさせる授業」をベースに、教科等の本質を踏まえた授業によって、「主体的・対話的で深い学び」を促進する授業改善を行う。
 - 3 ICT機器を活用し、個別最適化された学びを最大限提供する。
 - 4 地域の課題と向き合い、地域と協働した「ふるさと学習」を系統的・教科横断的に発展させる。
 - 5 エリアや地域資源を活用して学びの場を積極的に広げる
 - 6 主任・主事を中心とした教職員のOJT等により、人材の育成及び組織力の向上を図ることで、働き方改革を推進する。
 - 7 「自分の命は自分で守る」力を育成することができるよう、防災教育の充実を図る。

【中学校区で育成を目指す資質・能力と取組実践】

資質・能力	目指す生徒像	具体的な力	取組実践
知識・技能	学んだことを実際の社会や生活で生きて働かせる児童生徒	身に付けた学習内容を他の学習や生活の場面で活用できる。	○生徒の問いを生かした「考える授業づくり」の推進 ○「教えて考えさせる授業」をベースにした確かな学力の定着 ○ICTを活用した授業改善及び家庭学習の充実 ○100問テスト、ドリルタイム等による基礎・基本の確実な定着 ○授業や部活動におけるサーキットトレーニング等の習慣化 ○特別支援教育の推進による授業のユニバーサルデザイン化の実現
思考・判断・表現	未知の状況にも対応できる児童生徒	知識及び技能を活用して、課題解決や未来を拓く行動ができる。	○「学び合い」による「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○読書活動やNIE教育の充実 ○学校図書館やICT機器の積極的な活用 ○自分の思いなどを表現する場の設定による自己表現できる力の育成
自己の生き方を考える力	学んだことを人生や社会に生かそうとする児童生徒	夢の実現に向けて自己の生き方を考え、よりよく生きるための行動ができる。	○3年間を見通したキャリア教育の展開 ○多様な生き様に触れ自己の生き方を考える「未来を拓く100の出会い」 ○地域資源の活用による多様な価値観との出会い ○挨拶、返事、靴揃え、時間を守る、丁寧な掃除
協働的に関わる力	郷土を愛し、協働して貢献できる児童生徒	郷土や仲間を愛し、相手の気持ちを尊重して協働し、積極的に貢献できる。	○地域の課題を解決する態度を育成する「ふるさと学習」の充実 ○生徒会活動を中心とした生徒の自主的活動の奨励 ○地域ボランティア等地域活動への参加の奨励 ○生徒の自己肯定感を向上させる異校種・異学年交流の充実